

- 5.2 本計画による医療供給 a～fに関係した
 - a) プライマリケア
 - b) 現場における医療
 - c) 第一次受け入れ病院の医療—救急、専門、病棟
 - d) 第二次 #
 - e) 地域における専門医療
 - f) 大災害
- 5.3 二次医療機関の基準
 - 道路によるアクセスの良いこと
 - 専門家による包括的医療が実施できる
 - 信頼できる安全が保たれる
 - 施設の設備が比較的良好である
- 5.4 すべての医療機関が、その内部が、協同・相補完する体制の重要性を認識すること
- 5.5 何時、如何なる時点でも医療供給を保証すること
- 5.6 DMOとは、次の状況で治療する医師または代理者をいう
 - DMO (応急手当) 救急室レベルの対応
 - DMO (ICC / NIA) プライマリケア
 - DMO1 (プライマリケア) *二人の総合医による5つの代表団の
 - DMO2 (#) 滞在ホテルにおけるプライマリケア
 - DMO (首脳夫人) チェッカーズにおける救急レベルのプライマリケア
- 5.7 各地における医療計画

2.6 大災害対策

空港およびバーミンガム市内

- 6.1 地域の多施設を含めた大災害対策が既に作られている
- 6.2 G8サミット時もバーミンガム近郊各地における災害に対してこの対策が発動される
- 6.3 バーミンガム市内の大災害に対しても同様
- 6.4 G8サミット時にこの大災害対策を適用する主な点は次の通りである
 - ・全病院が個々の大災害対策をもっている
 - ・G8サミット期間中に大災害が発令されるとNHS調整室がもうけられる
 - ・G8サミット医療総轄者またはその代理が、警察のコントロールに向かい、医療についてのアドバイスと同時にNHS調整室と連絡をとる

- ・代表団に大災害が発生した場合は、負傷者は指定された受け入れ病院に搬送する。化学物質、毒物については特別に扱う。
- ・サミット時にサミットと無関係の大災害発生の場合は、通常の救急車サービスを適用する。この場合もNHS調整室が発動する
- ・デモ、放射能被爆などの大災害の定義には変化なし

6.5 The Retreat で大災害発生時は、ニュークロス病院とスタッフオードの救急車が使われ、近隣の病院および救急車活動は待機する

- 6.6
- ・Chequers の場合は、バッキンガムの救急車と施設が使われる
 - ・Chequers 往復の途次は、近隣の救急車と病院が待機する。

2.7 救急車

7.1 西中部消防とスタッフオード消防が、包括的な救急車救急サービスを協同して行う

7.2 お互いの支援体制は各々の消防で成文化する

7.3 Chequers 往復の間の救急車搬送はNHS が担当者を決定する

2.8 病院

8.1 二次診療は下記の原則により実施

- 1 一次受け入れ病院をサミット開催各地毎に指定
- 2 特定の一次受け入れ病院を化学兵器損傷のような特別の病状により決定する
- 3 二次受け入れ病院をサミット開催各地毎に指定
- 4 その他のサミット開催地近隣の病院も災害医療計画をたてる
- 5 すべてのサミット参加者は一次受け入れ病院一次受け入れ病院医収容
- 6 マスコミ、一般市民は二次受け入れ病院に収容
DMOまたはその代理者は、このとりきめを例外的に無視することができる
- 7 ハートランド病院は救急に限り一次受け入れ病院とする。しかし、すべての代表団員は、サミット準備スケジュールに限り“入院病院”に転送する
- 8 IPP, SP, を含んだ事態が発生した場合は救急車や開業医は、一次受け入れ病院から二次病院またはその他の支援病院に患者をまわす

バーミンガム調整室を設置し、積極的に診療サービスを調節する

8.2 バーミンガム

バーミンガム、ソリール地区は次の病院を使用

大学病院

市立病院
ハートランド病院
グードホープ病院
バーミンガム小児病院
サンドウェル地域病院
ウォルソール メーナー病院

8.3 The Retreat

Retreat では次の病院を使用

ロイヤルウォルバーハンプトン病院
プリンセス ロイヤル病院
ミドスタッフオードジャー病院

8.4 Chequers

往復の途中の近隣病院

8.5 バーミンガム調整室

- 1 必要な医療供給体制をとったり、I P P、S Pの災害医療に強調して対応するため、バーミンガム調整室を設置する
- 2 調整室は電話通信センター、大会議室、食糧調達、マスコミ用大会議室より成る
- 3 次のスタッフで構成する
 - バーミンガム急性病院のオンコール事務長
 - // 保健部長
 - // 保健所長
 - // 救急マネージャー

その他

- 4 これ以外に、G 8 サミット準備委員長またはその代理者が警察のコントロールセンターにNHSおよび調整室間の協調をはかる

8.6 警告

- a) 個々の救急センターは患者や災害の状態の詳細とともに通常のように救急サービスを通して、警告を受ける
- b) 一次受け入れ、二次受け入れ病院の何れもサミット関連の情報受け入れ部門を設置する

8.7 災害医療において予想された通信網は、表に示している

2.9 歯科診療

- 9.1 バーミンガム歯科病院またはセリーオーク病院で一般的なあるいは特殊の歯科診療が受けられる
- 9.2 DMOが何れの施設を使うべきか指示する

9.3 歯科診療基準は以下の通り

バーミンガム歯科病院

通常の歯科診療—歯痛、冠破損、充填物の破損、ブリッジのトラブル
午前9時から午後10時30分まで診療、通常は午前9時に閉鎖
土曜、日曜は午前9時から午後5時までIPP、SPに対しては
24時間診療を保証

セリーオーク病院

急性の歯科的救急—出血、骨折、顔面など下顎顔面チームの診療
24時間

2.10 プライマリケアについて

10.1 G8サミットにおけるプライマリケアとは緊急でない健康に関する問題
についての相談やアドバイス、慢性疾患で緊急入院や専門家に診察させる
必要のない疾患の診断・治療を指す

10.2 プライマリケアの施設は2.5.6、2.5.7に示す2.5.6に示した医師はすべて
プライマリケアをする

10.3 プライマリケアは、首脳や代表団がホテルのフロントを経由でホテルの
総合医と連絡する

10.4 眼科

眼鏡やコンタクトレンズの修理や新規購入が必要なときは、2ヶ所市内
の眼鏡店が対応することになっている

10.5 歯科

2.10に歯科治療施設の詳細がある—バーミンガム歯科病院か Selly Oak
病院の歯科

10.6 薬品

市内およびICCに多種多様な薬局がある。代表団員も普通に支払って
頂く。ホテルフロントから近くの薬局の所在地についての情報が得られ
る

10.7 特別な治療

DMOと病院勤務医との連絡で行う

10.8 血液の供給

市立病院、血液銀行からO(-)の血液を入手する手筈が整っている

2.11 公衆衛生

11.1 公衆衛生に関する問題の責任は保健所にある。伝染病や環境衛生上の問
題に対処する十分な経験から、ほかの組織から援助を求められる

11.2 特殊の危険については、地域レベルでの対処法がある。地域の委員会が
24時間にわたって問題に対処するメンバーを召集する

11.3 地域レベルの三つの計画がある

化学的汚染対処計画

放射能汚染

地域的暴動鎮圧計画

生物、化学、放射能障害に関する取りきめ

生物兵器—大学病院の Dr. Geddes に対処法を尋ねる

化学—市立病院に聞く

放射能—Selly Oak 病院、New Cross 病院が除染装置をもっているの
患者を受け入れる

11.4 公衆衛生医師がオンコールですべてのG8サミットに関する公衆衛生の
問題に対処する

2.12 マスコミ対策

12.1 G8サミット時の大災害の場合のマスコミと自身の内部のコミュニケー
ションについてあらかじめセットすること

12.2 各病院に広報部があるが数千人のマスコミが押し寄せるので、他からの
応援を求められるよう準備する

12.3 応援にあたる人は、地域のNHSを通じて得ることが出来る。必要に応
じて病院に送り出す

12.4 必要があれば、中西部地区の執行部がマスコミ対応の部局を作り、病院
の広報部が殺到する電話に邪魔されずに自由にマスコミにニュースを発
表したり、記者会見を行うことができる

12.5 中西部地区事務所は市や、国の政府当局者と協力して、公表する事柄は
すべて警察の同意を得てから行う

12.6 各病院広報部は中西部地区事務所と何回も打ち合わせを行う。必要なら
更に援助者を送る

12.7 中西部地区事務所は単に中継所として機能し、Dr. Court の支援をする

12.8 とりきめ

中西部事務所がサミット期間中に予測される質問や出来事に対する方針
を書く病院広報部に示す。予防手段として各病院の広報は、中西部事務
所に問い合わせた後に、マスコミに発表しなければならない

12.9 外務省、内務省はサミットにインターネットのホームページを作製し
たので期間中にもマスコミに対してニュースを更新する。アドレスは；

<http://birmingham.g8.gov.uk>.

2.13 各病院

13.1 健康上の問題のすべてに病院は対応する

13.2 但し、事情によっては個々の部門を受診することもある。次の病院は1つ又は数ヶ所の代表団を受け入れることに同意している。必要に応じて、DMO又はNHSの専門医が特殊治療についての処置をとることになっている。また、反対に代表団が独自に病院に直接いくこともあるので、FCOの連絡が係に通知し、それを更にサミット事務局長または次長に詳細を報告する

バーミンガムヌフィールド病院

バーミンガムプライオリ病院

2.14 地方自治体のサービス

14.1 水

- a) 公共の水の汚染や断水に対して二つの水道公社が危機対策をもって定期的にテストしている
- b) G8代表団の使用する水は、細菌学的・化学的に検査をするよう処置する
- c) 市環境保健部が飲料水の適性チェックをする

14.2 食物の取り扱い

- a) 代表団が食事をとる場所は、市衛生局が調整し、食品衛生上適切であることを確認する
- b) 食品衛生および食品標準の点についても、三ヶ所の市衛生局で協議する

14.3 医療と安全

すべての機関が、衛生上又は安全上の法律を順守していること。代表団が訪問するすべての予定地も同様

14.4 臨時死体安置所

G8サミット時の死亡者がある場合はRAFの死体安置所が使用される

2.15 軍の援助

軍との連絡が必要な場合は、11章に述べられたように行う。軍の民間に対する援助の形2つ実施される。

【イギリス国 バーミンガム市】

資料3 バーミンガム大学病院

G8サミット災害時医療計画

〔要約〕

University Hospital Birmingham NHS Trust

Operational Contingency Plan, G8 Summit

- 1 緒言
- 2 計画作製委員会
- 3 NHSの役割
- 4 通報手順通達
- 5 報道機関
- 6 主な連絡場所
- 7 電話番号
- 8 安全管理
- 9 医療上のこと

1998年5月14日～17日

バーミンガム大学病院

G8サミット災害時医療計画（要約）

(Univ. Hospital Birmingham NHS Trust - Operational Contingency Plan, G8 Summit)

1 緒言

1998年5月14日（木）より17日（日）までサミットが開催される。

8カ国首脳が出席。代表団約2,000人、マスコミ関係者が焼く3,000人の見込み。

保健財団は万一の災害や救急疾患の発生に備えて計画書を作製した。

2 計画作製委員会を設置

西中部地区保健指導者 Mr. Bruce Court 医師を委員長として上記を設置。

3 NHSの役割

NHSは2つの役割をもつ

1 大災害

救急指令室からの宣言により、大災害計画を発動させる。各人の役目や責任についての変更はしない。

2 代表団を含んだ救急

大学病院は次の分野で基幹病院となる。

すべての成人疾患—但し、化学的損傷は市立病院へ救急搬送
入院を必要とする疾患

次の集団が市内に滞在している場合

I P P—各国首脳（国際的保護人物）

S P—各国首脳の夫人と上級随員約100人

G8関係者—サミットと関係した代表団員約1,900人

4 通報手順通達

1 通報手順

次の表により発令する

救急疾患発生→当番医師→救急車指令室→病院

	┌ 救急センターコンサルタント→スタッフ
	└ 事務部

救急当番医の役目

救急疾患発生時に患者に添乗し、病院に到着する

救急指令室と接触

2 救急当番医が指示を必要とするとき

緊急性の低い傷病のとき→大学病院—上級医の判断を仰ぐ

5 報道機関

1 部屋

報道用の部屋はメインコントロールルームに置く。FAX は1台は受信用、1台は送信用とする。5時以降と休日の電話はG8プレス室に転送する。

大学の広報部がニュースを流す

記者室を設置し、係を配置

外来に駐車場をもうける

外来スペースは小さいが2,000人の記者団のすべてが出席できるようなプール方式をとる。

救急センターの写真撮影は保安柵より後方からに限定

2 スタッフ

2人が9~17:00まで院内待機。夜間はオンコール応援はNHSEより来る
大災害発生時の電話番号と連絡者をあらかじめ指名しておく。

3 センターとの連絡

各病院と警察との連絡網を設置する

6 主な連絡場所 - 7ヶ所に連絡

7 電話番号 - 附表1に記す

8 安全管理

1 地図(附表2)を参照

G8首脳に対し、早く安全な道を設定、病院のほかの部分から安全に隔離する。蘇生、ICU、手術場、x-ray等のプライバシーを保持。プレス、公衆から交通遮断できる所

i) 道路経由

VIPのみが使用する道路。病院の玄関を避ける。

ii) ヘリコプター経由

Sea Kingが使用される。正面玄関の反対側から救急センターまでは救急車を使用。

警備用の柵の設置

守衛を4ヶ所に配置

2 病院施設の準備

救急センターとS2病棟を使用

正面玄関よりVIPを搬入、蘇生室へ。患者が居た場合は可及的早期に排除。

VIPにその他の治療を必要とするときは、安全確保の容易なReview Clinicを使用

歯科診療は歯科外来

救急センターからS2にレントゲン、ギブス室、小手術室あり。大手術を必要とする場合は、手術場へ。

救急センターからS2病棟への搬送。4床をICUとしても使用可。

安全確保。

救急センターICU手術場に近い。

救急センターとS2病棟からのすべての出口を考慮。

救急センターとS2病棟周辺は、警備陣により安全確保。更に病院のスタッフが応援する。

3 病院スタッフの保障

IDカード点検後に入室

他のスタッフは通常とおり。CTとMRIを必要とする場合は、別にアレンジする。

4 警察の援助体制

安全確保にあたる

首脳は各々の警備陣がつく。電話、部屋、駐車場等を必要とする

病院 必要とするときは電話

9 医療上のこと

1 救急センター

救急センター通報により、全ての緊急以外の患者は開業医の所に行くようにする。その他は、直ちに別の場所に移して検査、治療を続行。S8病棟か隣の病院を使う。救急車はすべて他の病院に送る。

2 S2病棟

患者移送について、交代制で指名されたものが院内空床状況を把握しておく
(附表3)

KEY CONTACT NUMBERS

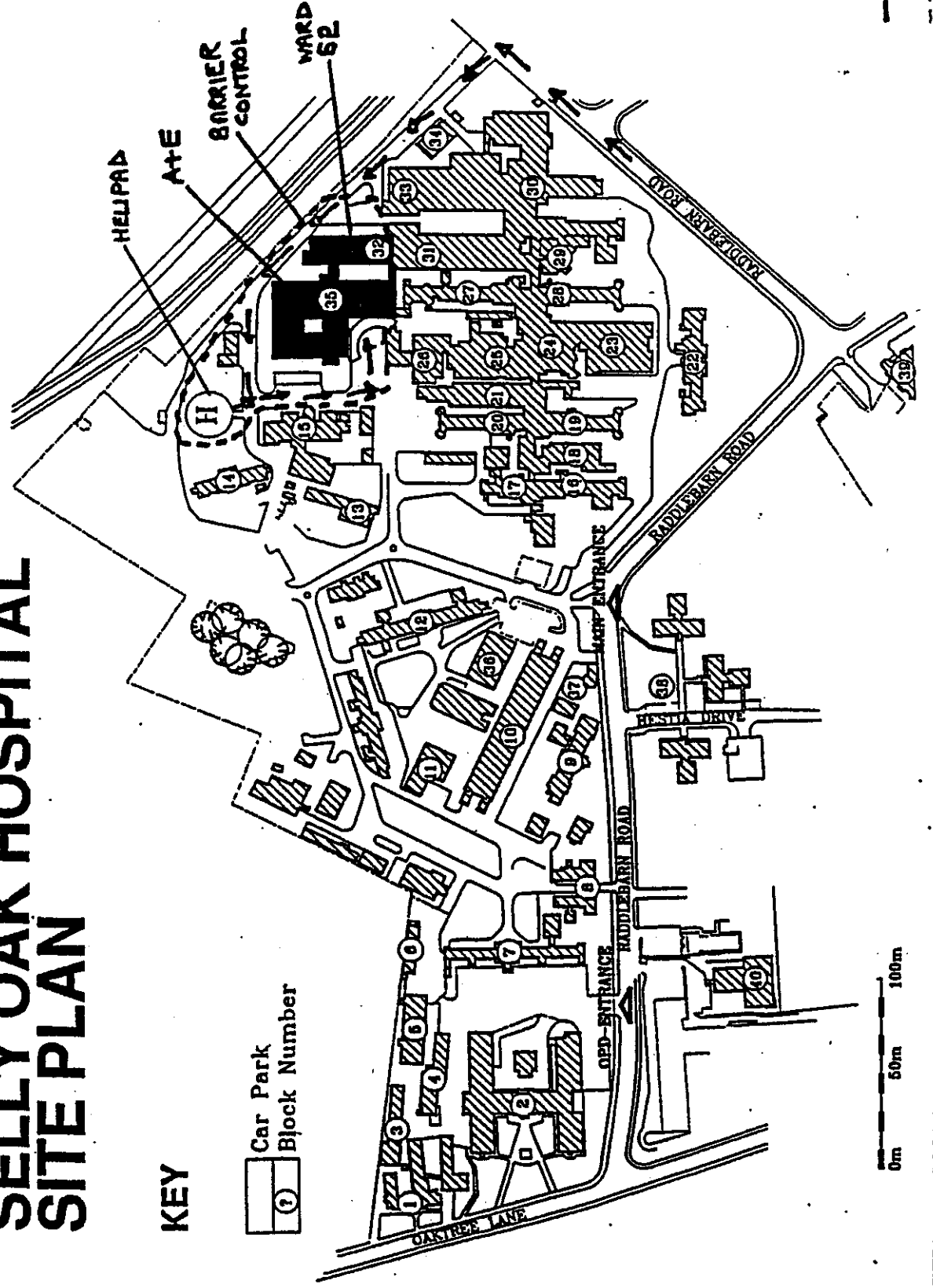
24 HOUR CONTACT FOR G8 IN SOH SWITCHBOARD	627 8076
A&E ALERT NUMBER	627 8559
CONTROL ROOM/PRESS OFFICE	627 8926 627 8927 627 8928 627 8929 EXT. 52627 EXT. 52633
OUTPATIENTS DEPARTMENT	EXT. 51304
A&E REVIEW CLINIC	EXT. 52445
A&E SEMINAR ROOM	EXT. 52136

**ALL STAFF ON-CALL DURING THIS PERIOD WILL BE
AVAILABLE VIA SOH SWITCHBOARD**

UNIVERSITY HOSPITAL BIRMINGHAM NHS TRUST SELLY OAK HOSPITAL SITE PLAN

BLOCK SCHEDULE

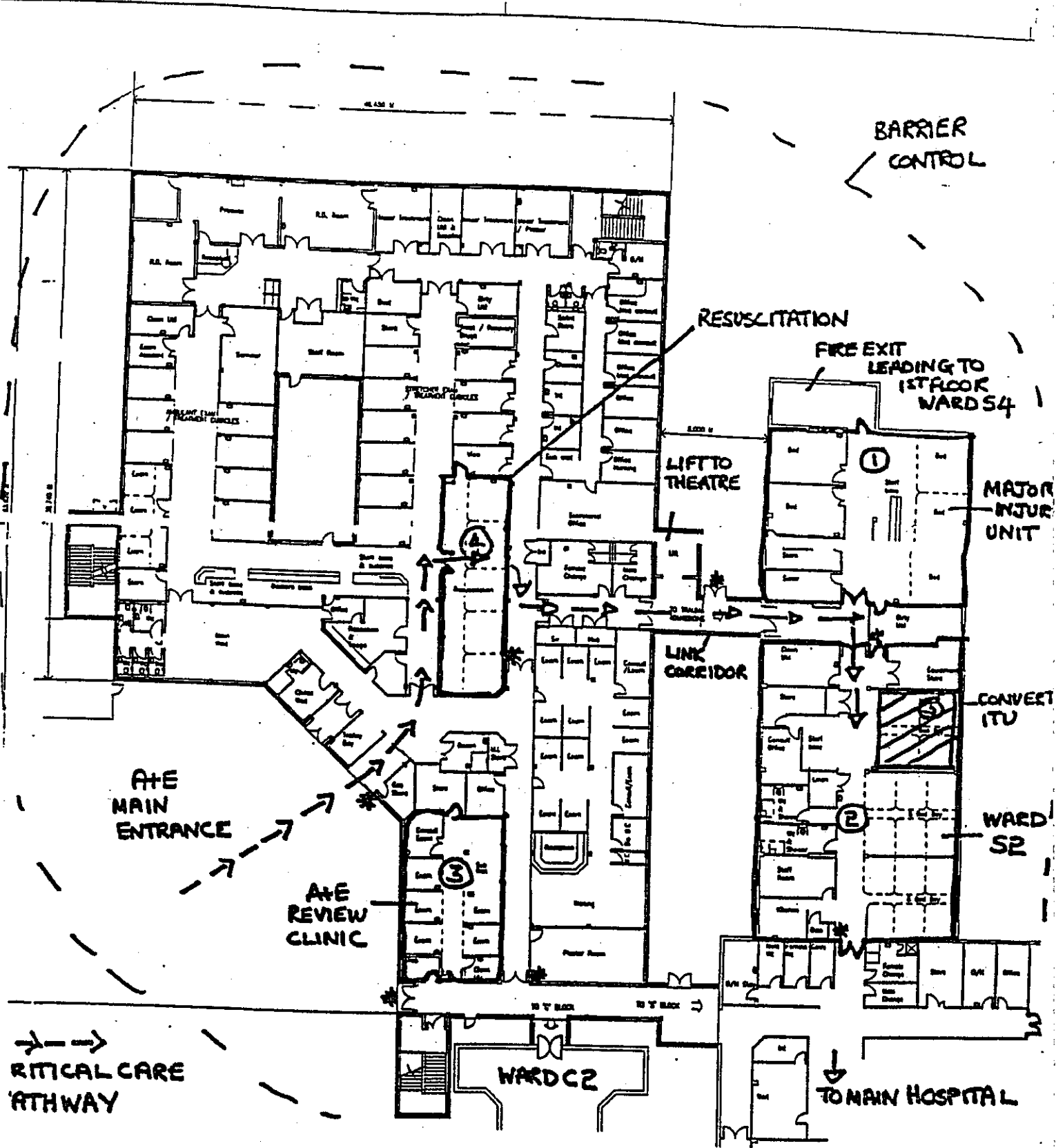
- 1 Trust Headquarters
- 2 Outpatients
- 3 Human Resources
- 4 Maxillofacial
- 5 Print Room
- 6 Social Workers
- 7 Finance & Supplies Offices
- 8 West Lodge
- 9 Dermatology/Diabetic Resource
- 10 Physiotherapy/Occupational Therapy
- 11 IARC
- 12 Rheumatology
- 13 Estates
- 14 Electromedical Engineering
- 16 Pathology A1/A3/A5
- 17 Pharmacy
- 18 Medical Education Centre
- 19 Wards B1/B3
- 20 Wards B2/B4
- 21 Orthotics
- 22 Drs Residences
- 23 X-Ray
- 24 Information Desk
- 25 Dining Room/Kitchen
- 26 Stores
- 27 Wards C2/C4
- 28 Wards C1/C3
- 29 Daycase Entrance/Wards D1/D3/D5
- 30 Theatre
- 31 S Block ITU/Wards S3/S5/S7
- 32 S Block Wards S2/S4/S6/S8
- 33 ISSU
- 34 Creche
- 35 Accident & Emergency (G.F.)
Burns & Plastics (F.F.)
- 36 Haywood Building
- 37 Medical Illustration
- 38 Accommodation Blocks
- 39 Woodlands Nurses Home
- Occupational Health
- Dieticians
- Training
- 40 Medical Records



KEY



→ PROPOSED AMBULANCE ROUTE



Ground Floor Layout

BARRIER CONTROL

ACCESS/ENTRANCE POINTS

【イギリス国 バーミンガム市】

資料 4 バーミンガム大学病院

大災害対策

University Hospital Birmingham NHS Trust
Major Incident Procedure

- 1 大災害における処置
- 2 実際の行動
- 3 大災害後のスタッフ支援計画
- 4 附

目 次

第1部 大災害における処置	3
重要部署 ー	4
重要部署 ー 院内	4
重要部署 ー 早見表	5
重要人物 ー 早見表	5
電話番号表	5
救急の文書	6
病床管理	6
スタッフ呼出し	7
交換台への問合せ電話	7
第2部 実際の行動	
実施カード	9
災害医療現場監督	9
移動医療チーム	9
トリアージ監督	10
大災害時医療指揮者	11
救命救急センター医療監督	12
ICU 監督	12
手術場監督	13
病棟監督	13
チーフレジデント、レジデント、医学生	14
専門医の役割	14
当直レントゲン専門医	15
当直麻酔医	15
当直外傷部レジデント	16
看護部指揮者	16
当直の熱傷・形成外科レジデント	17
救急室先任看護婦	17
退院患者・受付・外来担当ナース	18
コントロールセンター指揮者	18
事務部長	19
救急センター事務員	19

インフォメーション係	19
広報部	20
病床管理部	20
ボランティア係	21
ホテルサービス係	22
滅菌係	
食糧係	23
ソーシャルワーカー	23
薬剤師	24
医学イラストレーター・リハビリ	24
第3部 大災害後のスタッフ支援計画	25
第4部 附・特殊ケース	26
熱傷	26
放射能事故	27
化学薬品事故	38
内科疾患	39

第1部

【 大災害手順 】

大災害とは、ほとんど予期や警告なしに起こり、多数の人々の生命をおびやかし、正常の生活を破壊したり、中断させたりするものと定義される。

通常の状態で開催されている公的機能でまかないきれない程大きく、特別な動員体制をとらないとならないものである。

大災害時には、救急自動車は大学病院の交換台を次の記号で通告する。

1 大災害待機

大災害の起る可能性のあるとき

2 大災害計画を発動させなければならないときは“大災害動員発令”

3 病院側は、受け入れ病院なのか、支援病院なのかを通告される。

4 大災害手順中止

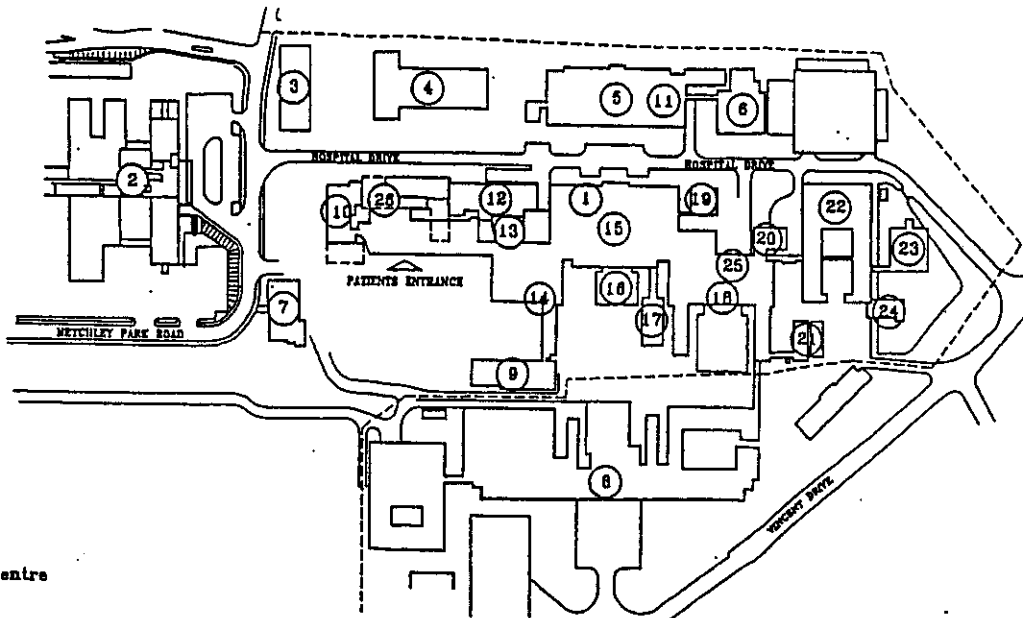
大災害が起らないとき、交換台に通知、交換は待機を命ぜられた人すべてに中止を告げる。

5 災害が片付き、傷害者も搬送された後には、“大災害鎮静化”と交換台に通告する。

MAJOR INCIDENT PROCEDURE QUEEN ELIZABETH HOSPITAL SITE PLAN

KEY

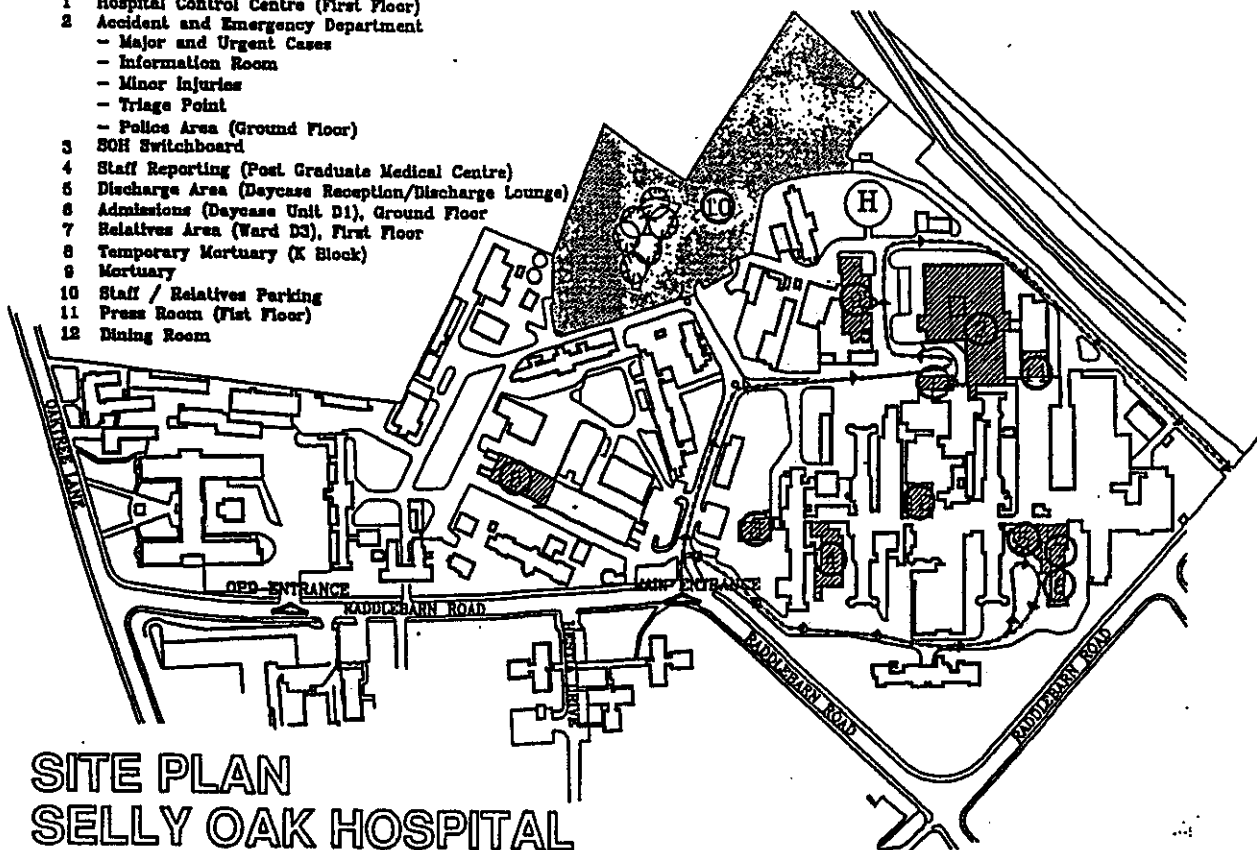
- 1 Hospital Control Centre
- 2 Maternity Hospital
- 3 School of Physiotherapy
- 4 School of Nursing
- 5 Nuffield House
- 6 Morris Centre Club
- 7 Post Graduate Medical Centre
- 8 Medical School - Pathology
- 9 Wolfson Computer Centre
- 10 Radiotherapy
- 11 Oncology Offices
- 12 New Pharmacy
- 13 Theatres
- 14 West Block
- 15 North Block
- 16 QED
- 17 MRI Scanner
- 18 East Block
- 19 Renal Dialysis Unit
- 20 Mortuary
- 21 Microbiology Laboratories
- 22 Research Block
- 23 Cancer Research
- 24 Haematology
- 25 Queen Elizabeth Neulosciences Centre
- 26 Site of New Oncology Centre (dotted)



a:\MAJOR INCIDENT\QEHPLAN.DWG KMD 8.9.97

KEY

- Ambulance Route to A & E and Daycase Unit (D1)
- 1 Hospital Control Centre (First Floor)
- 2 Accident and Emergency Department
 - Major and Urgent Cases
 - Information Room
 - Minor Injuries
 - Triage Point
 - Police Area (Ground Floor)
- 3 SOH Switchboard
- 4 Staff Reporting (Post Graduate Medical Centre)
- 5 Discharge Area (Daycase Reception/Discharge Lounge)
- 6 Admissions (Daycase Unit D1), Ground Floor
- 7 Relatives Area (Ward D3), First Floor
- 8 Temporary Mortuary (K Block)
- 9 Mortuary
- 10 Staff / Relatives Parking
- 11 Press Room (First Floor)
- 12 Dining Room



SITE PLAN SELLY OAK HOSPITAL MAJOR INCIDENT PROCEDURE

a:\MAJOR INCIDENT\SITEPLAN.DWG KMD 24.9.97

【 重要部署 早見表 】

病院のコントロールセンター	
トリアージ場	— 救急センター入口
重症外傷	— //
軽症外傷	— 骨折外来
待機場所	— 救急センター内処置室
入院係	— 受付
退院係	— //
インフォメーション	— 救急センター内事務部
家族待合所	— D3 病棟
プレス室	— 外傷セミナー室
警備陣	— 救急セミナー室
臨時屍体置場	— Kブロック・PT 部
ボランティア	— 卒後研修センター
スタッフ報告室	— //

【 重要人物 早見表 】

1 医療指揮者	院長又は代理
2 看護 //	総婦長
3 コントロールセンター	事務長
4 トリアージ係	救急センターチーフレジデント又はその次の位
5 臨床医療指揮者	//
6 ICU //	当直麻酔医
7 手術室 //	//
8 病棟 //	当直外傷専門医

【 電話番号表 】

「電話番号表」

重要部署、重要人物

【 救急の文書 】

腕バンド

- すべての症例の確認は番号付きのバンドで行われ、入室と同時に装着する。救急センターの番号と一致した番号とする。
- 通常使用しているものと同じカードを使用。
- 事態が許す限り、救急カードを記入する。すべての投与された薬剤や輸液を記載する。そして、患者台帳に転記する。
- 救急センターに不慣れなスタッフが作業をすすめなければならないので、次のセットのすべてに番号を記しておく。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 頭部外傷チャート | 7 貴重品入れ |
| 2 レントゲン依頼票 | 8 ラベル2枚 |
| 3 血液型検査票 | 9 熱傷範囲記入表 |
| 4 血液像 | 10 輸液表 |
| 5 医化学 | 11 処方箋 |
| 6 手術および麻酔記録 | 12 同意書 |

【 病床対策 】

管理責任は婦長および医療指揮者にある。

ICU ベットを整理する ICU 係にも責任がある

災害の大きさにもよるが、すべてのナースはどの患者を転送又は退院させることができるか、知っていなければならない。

時には、必要な人員確保のために長期にわたり患者を退院させなければならない。

短期間なら、日帰り部門を入院病棟として使用する。また、人員も優先に移し変える。

次の何れに属するか、すべての患者について全看護婦が知っていなければならない。

- a 直接帰宅できる患者
- b 暫くしてから、帰宅できる患者
- c 退院不可能で他の病棟に転棟を必要とする患者
- d 退院不能、退院に転送を必要とするもの

c の患者は可及的早期に転棟させる。

隣の病院にも退院可能の患者の調査をするように指揮者は依頼する。

医師により病院間転送をアレンジする。

受付、日帰り部門のナースが転送の調整を行う。